

女性が笑顔でいられる、  
女性が輝ける、女性の夢が叶えられる、  
そんなまちになるために。みんなで女性を応援します。

# みのかもで、 叶えられる夢がある。



## Caminho

みのかもで、  
叶えられる夢がある！  
まち・ひと・しごと創生総合戦略

Caminho[カミーノ]

カミーノとはポルトガル語で「道」のこと。  
女性が歩む人生の旅路のなかで、安心して歩ける、  
夢が叶えられる、ほっとできる、そんな美濃加茂市  
になりたいという思いから名づけられました。

第2期 美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

with

第1期 美濃加茂市女性活躍推進計画

### ライフスタイル

自分らしく  
生きられる。



- 1 夢へのチャレンジを応援します。  
(起業しやすい環境の整備)
- 2 ライフ・ワーク・バランスを実現します。  
(プライベートと仕事の両立の支援)
- 3 「働きたい」想いを叶えます。  
(女性の就職、職場復帰の支援)
- 4 「みのかもに住みたい」をサポートします。  
(移住・定住の支援)

【目標】充実したライフスタイルを送る女性の割合を63.6%から75%に増やします。

出典：市民満足度調査のうち、「今の暮らしについて思うこと」の20～39歳の女性が今の暮らしに満足している割合

### 出会い・結婚

家族を  
つくれる。



- 1 いろんな「出会い」があります。  
(多彩な交流機会の創造)
- 2 いつも、誰かと話せる場所があります。  
(交流スペースの整備)



【目標】婚姻件数(年あたり600件)を維持します。

出典：市民課戸籍調

### 妊娠・出産

お母さんになれる。



- 1 「子どもがほしい」気持ちに寄り添い、  
応援します。(不妊治療に対する支援)
- 2 妊娠・出産する女性を孤立させません。  
(安心できる妊娠、出産への支援)
- 3 「2人目、3人目がほしい」希望を叶えます。  
(子育て家庭の精神的負担へのサポート)



【目標】生まれる赤ちゃんの数(年あたり500人)を維持します。

出典：市民課戸籍調

### 子育て

子どもの笑顔を守れる。



- 1 自然の中で、子どもがのびのび遊べます。  
(子どもの遊び場や自然環境の整備)
- 2 安心して子どもを預けられる場所があります。  
(保育環境の整備)
- 3 子育てをみんなでできる地域を目指します。  
(子育て支援の推進)
- 4 安心して子どもを育てることができる環境をつくります。  
(心身が健康に成長できる支援の充実)

【目標】子どもを持つ世帯の平均子ども数1.75人を維持します。

出典：18歳未満世帯員のいる世帯の18歳未満世帯人員数の平均推計値

### 教育

ふるさとを  
好きになれる。



- 1 家庭や地域を大切に思う子どもを増やします。(ふるさと教育の推進)
- 2 地域や企業と一緒に、子どもの教育を進めます。(キャリア教育の推進、子どもたちの地域参加の促進)
- 3 子どもたちの「夢を実現する力」を育みます。(グローバル人材の育成)
- 4 子どもたちの学習意欲を高める教育を充実させます。(校外学習の推進、教育の情報化)

【目標】女性や若者が夢をかなえられるまちだと感じられる人の割合を20%から40%に増やします。

出典：市民満足度調査

※美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略「Caminho[カミーノ]」は、まち・ひと・しごと創生法に基づく総合戦略です。あわせて女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)に基づく女性活躍推進計画を兼ねています。  
両計画ともに令和2年度から令和6年度までを計画期間としています。なお、女性活躍推進計画に位置付けられる事業は、女性の活躍に資する事業が対象です。  
※目標は、令和6年度までの達成を目指す数値目標です。

# みのかも・女性のデータ集

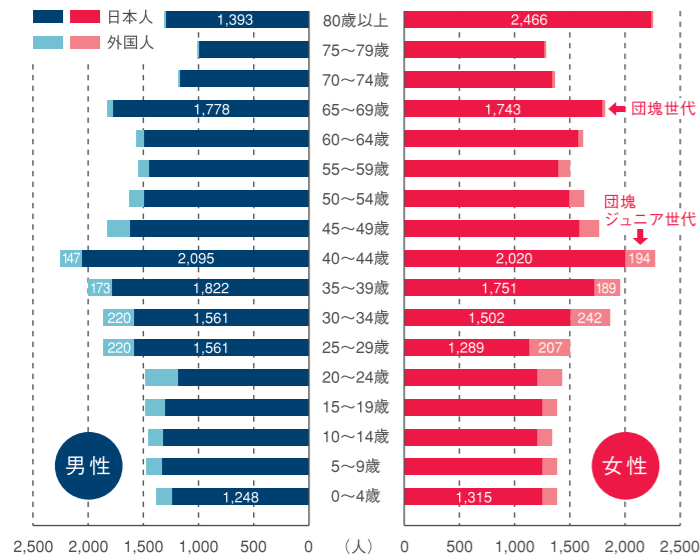
「女性」という観点で、美濃加茂市の統計を見てみましょう。



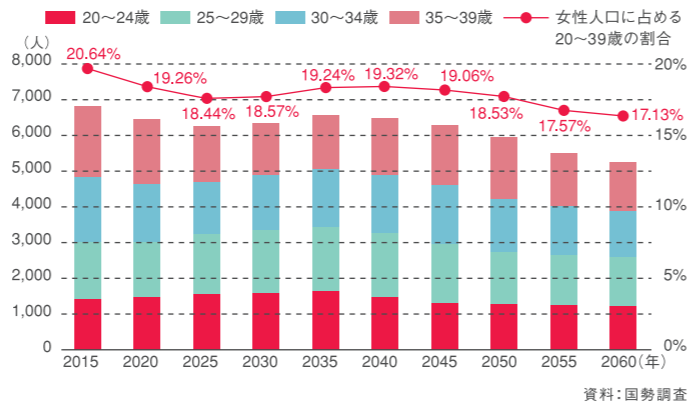
## 人口

美濃加茂市の人口は、平成27年の国勢調査によると55,384人です。平成22年から比べて増加しました。しかし、0～14歳、15～64歳の人口の割合は減少傾向にあり、妊娠・出産する可能性が高い20～39歳の女性人口も減少を続けていくと予測されます。

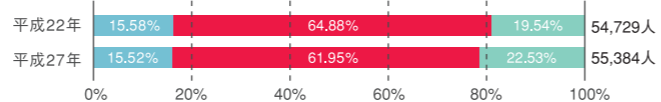
### ■人口ピラミッド(平成27年)



### ■年齢階層別 若年女性の人口推計



### ■年齢3区分別人口割合

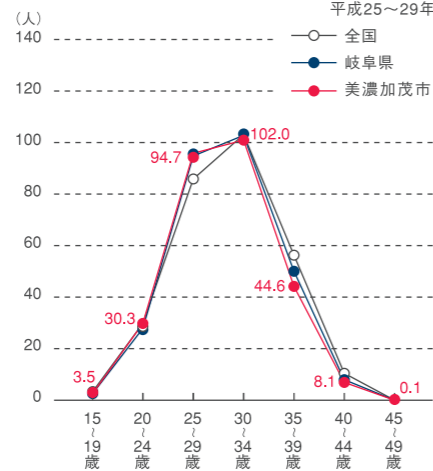
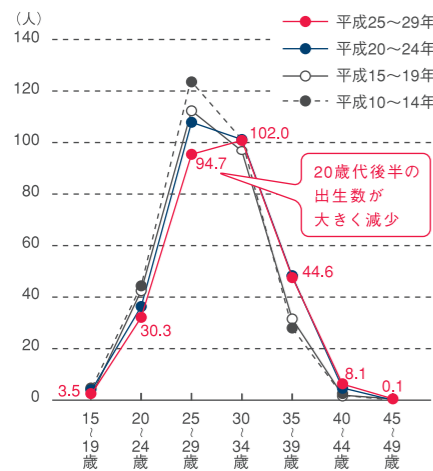


## 出生の状況

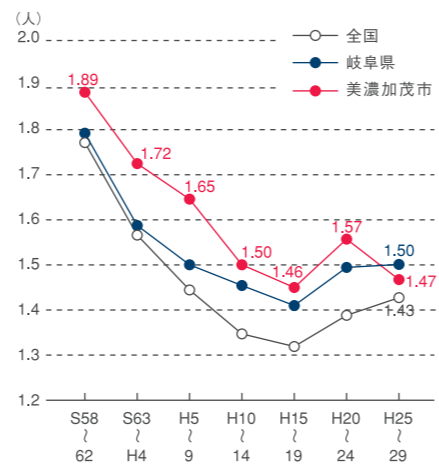
女性千人あたりの出生数を年齢別に見ると、20歳代後半での出生数が大きく減少し、30歳代後半での出生数が増加しており、晩婚化に加え、晩産化が進んでいるようです。平成20～24年は、全国、岐阜県と比較して20歳代後半から30歳代前半での出生数が突出していましたが、平成25～29年はその傾向がなくなり、全国や岐阜県の結果に近づいていることから、第一子出産が遅くなってきているようです。

また、1人の女性が一生に産む子どもの数を示す合計特殊出生率は、全国、岐阜県と比較して高い状況を維持してきましたが、ここ数年、出生数が減少してきていることから、合計特殊出生率も低下したと思われる。

### ■女性千人あたりの出生数の比較



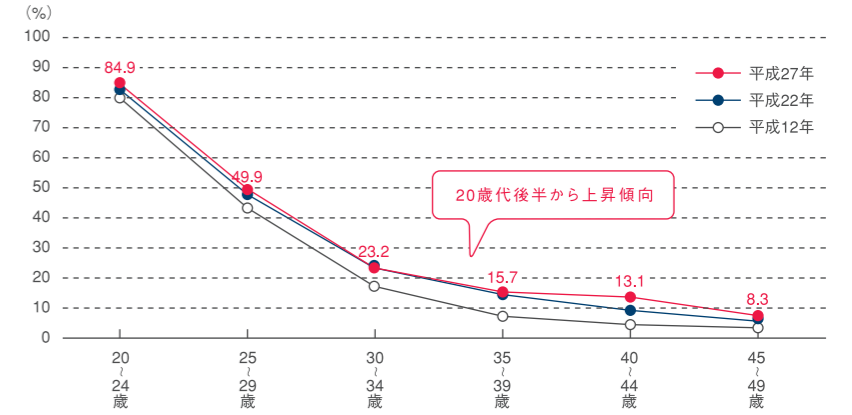
### ■合計特殊出生率の推移



## 結婚の状況

美濃加茂市の20歳代～40歳代の女性の未婚率は、平成12年と平成27年を比較して、すべての年齢層で上昇しています。特に40歳代の未婚率は平成22年と比較しても高くなっており、晩婚化というより結婚しない人が増えてきていると予測されます。

### ■女性の年齢階層別未婚率の推移

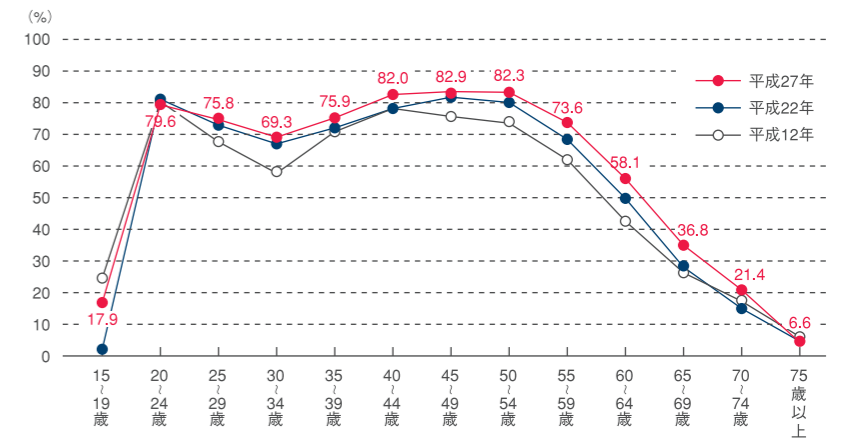


## 仕事の状況

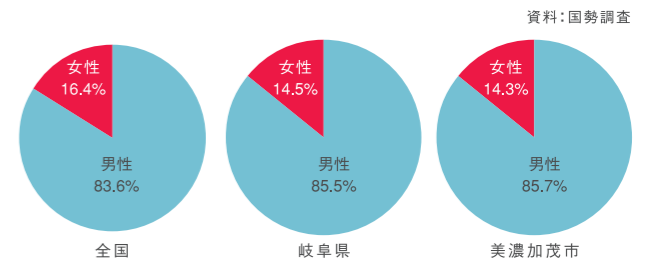
美濃加茂市の女性の労働力率をみると、平成12年からほとんどの年代で上昇していますが、結婚・出産期に当たる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するM字カーブが続いています。結婚・出産期に当たる年代の労働力率が上昇している背景には結婚・出産後も働き続ける女性が増えたことや、晩婚化・晩産化の傾向、未婚者の増加などが影響を与えていると考えられます。

また、美濃加茂市の管理的職業従事者の女性が占める割合は、平成27年の国勢調査によると14.3%で、全国平均と比較して低い傾向にあり、女性の管理職登用が進んでいないことが考えられます。

### ■美濃加茂市の女性の労働力率



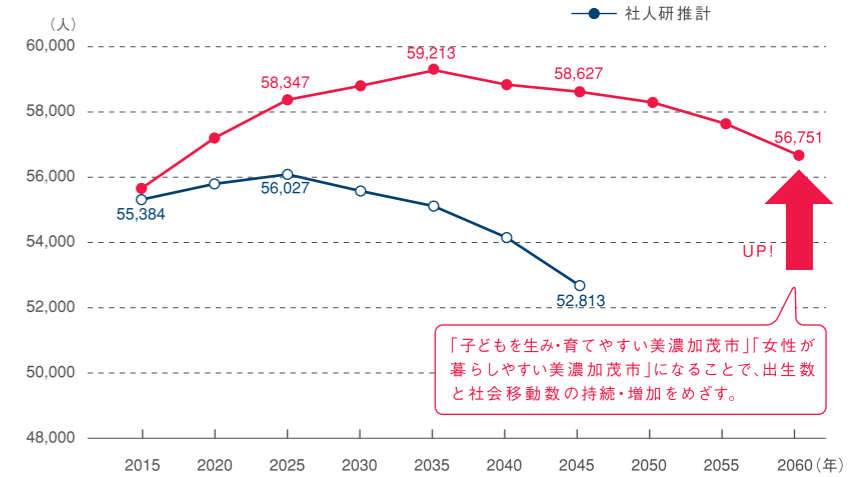
### ■管理的職業従事者割合



## 美濃加茂市がめざす「将来展望人口」

美濃加茂市は、今も人口が増加しており、2035年頃まで大きく減少することはないと予測されています。しかし、このまま何の対策もとらない場合、人口構造が変化し、年少人口の減少、老年人口の増加が進むこととなります。そのため、美濃加茂市では毎年500人の出生数を維持するとともに、出生数を増加させるため、若い世代(特に若年女性)の転入を目的とした施策を継続し、2060年の人口57,000人をめざします。

### ■美濃加茂市の将来展望人口



※資料:国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来人口推移(平成30年3月推計)」と推計ワークシートを用いた独自推計